

# 留萌ロータリークラブ 会報

2006▶2007  
WEEKLY REPORT

会長/中川 勝美 幹事/対馬 健一



## 率先しよう

2006~2007年度  
国際ロータリーのテーマ

留萌ロータリークラブ会長テーマ  
魅力ある明るく楽しいクラブは、  
ロータリーを知り、  
会員家族との親睦から

No. 2283 第44回 6月13日

### プログラム

- 本日  
委員長退任挨拶
- 次週予定  
理事・役員退任挨拶

- 会員誕生日  
6月13日 福嶋 重男
- 結婚記念日  
6月18日 宮井 清隆

### 出席委員会報告

前 例 会	会員総数	51名
	出免会員	7名
	欠席会員	11名
	出席率	75.00%

前 々 回	第41回 5月23日	
	欠席会員	17名
	メイクアップ	9名
	修正出席率	81.82%

例会/毎週水曜 12:15~13:15 留萌産業会館2F

### 会長報告

- 6月1日光風館石亭にて新旧合同理事会を開催、今年度最後の理事会でしたが次のことが承認されました。
  1. 6月の例会プログラムについて。
  2. 5月末の収支決算について。
  3. 5月13日に開催された第1グループ研修交流会の収支決算について。  
清水委員長より報告があり、決算残高17,236円は50周年の事業費に積み立てる事に。
  4. 6月27日最終夜間例会の企画について。  
明澤委員長より報告あり、すでにFAXにて会員に出欠確認をとっている。ご夫人の多数参加をお願いしたいとの事。締め切りは13日まで。

- 5. 留萌市役所都市環境部都市整備課による神居岩公園の「21世紀桜の丘」作りに参加。  
桜の木1本(基金協賛金)1口1万円で留萌クラブの桜の木を植えて頂きました。
- 6. アクトクラブ存続の件。  
現在アクトクラブ会員数は0名、今年度で休止の方向で澤田ガバナー補佐と相談し、手続きを取ることにする。

### 幹事報告

- 1) 留萌みなとライオンズクラブのチャーターナイト43周年記念祝賀会の案内受領。6月19日午後6時よりグランドよこやにて開催。関野エレクトが出席予定。
- 2) 陸上自衛隊留萌駐屯地の創立記念祝賀会開催の案内受領。6月23日午前10時から駐屯地

にて開催。私が出席予定です。

例会及び日時変更

- ・ 芦別 R C 6月21日移動例会、旭が丘公園

会報受領先

- ・ 芦別 R C 2401号 ~ 2404号

ゲスト

留萌海上保安部 部長 田中弘之様

ビジター

留萌海上保安部 管理課  
管理係長 高橋 健様

 委員会報告 .....

次年度社会奉仕委員会 西谷(英)委員長

先週皆さんに報告したあんどん用ハッピーの件ですが、委員会にてあんどんの補修費があまりかからないみたいで、ある程度の予算計上が出来そうです。そこで、本来ハッピーは個人所有と考えておりましたが、クラブ所有として皆さんには5,000円程度の援助をお願いしたいと思えます。皆様にはまたFAXにてアンケートを取りたいと思いますので宜しくお願いします。

次年度幹事 山本会員

次年度からお知らせいたします。皆様のテーブルの上に活動計画書の名簿と誕生日の用紙が置いてあります。間違っていないか確認お願いします。もし間違いがありましたら訂正お願いします。

 3分間情報 .....

情報委員会 河部委員

「心に残るロータリアンの言葉」

〈世界平和への取り組み方〉

ロータリーは住みよい社会と平和な世界を目指して活動している。その取り組み方は「奉仕」といって人への思いやり、進んで人の役に立つ

ことをモットーにしている。これを「超我の奉仕」「最もよく奉仕するものは最も多く報いられる」を標語にしている。それは、奉仕という方法で人間関係を改善してその目的を達しようとしているのである。よい人間関係が住みよい地域社会を作るだろうことは判るが、それが、果して国際平和の確立に役立つだろうか。

世界平和に必要な方法は言う間でもなく外交即ち政治家の活躍である。しかし現在の世界は沢山の国家があり、従って国境があり、別々の政府がある。政治家の努力は結局その国境と政府のイデオロギーの違いで行き詰まってしまう。政治家は国益という点から一歩も前進が出来ないのである。また、経済家の援助も会社をつぶしてまでも実行は阻まれる。ましてや軍人の軍備競争による抑止力などは一歩誤れば人類滅亡を招く大核戦争を惹起するかも知れない。

そのような事情だから残された方法は政府に関係ない国際団体によって、人間同志が理解し手を結び合うより他に世界平和の確立方法はないのである。

この非政府的な国際的且つ世界的な団体として最も実力のあるのがロータリーである。ロータリー会員同志なら仮想敵国の人々でも意思の疎通も出来るし手を結ぶことも出来るのである。ロータリーはその方法として、留学生の交換、青年の実業視察(GSE)、民間同士の間相互援助及び激励が盛んに行われている。

「窓を開くロータリー」より

 ニコニコBOX .....

- ・ 6月1日に新旧合同理事会及び今年度最終理事会が無事終了 理事役員の皆様にご感謝します 中川会長
- ・ 機器操作ミス すみません 大嶋副SAA

前 回	1,152,000円
今 回	3,000円
累 計	1,155,000円

## プログラム・・・・・・・・

### 「萌州 海の安心と安全」

留萌海上保安部

部長 田中 弘之 様

日頃皆様方には海上保安業務にご理解ご協力いただきまして誠にありがとうございます。また本日は、貴重な時間をお借りして留萌海上保安部のお話をさせて戴ける事に感謝申し上げます。さて本日は組織の紹介と留萌を取巻く海洋環境についてトピック的な事をいくつかお話いたします。

まず組織の紹介ですが、海上保安庁の組織は国土交通省の外局として位置付けられ、その仕事は多岐に渡ります。一口で言えば海の警察・消防とっていただいで結構です。詳しくはパンフレットを持参しましたので、参照して下さい。北海道は小樽にある第一管区海上保安本部が道内8つの海上保安部、3つの航空基地を統括しています。この8つの保安部の一つが留萌海上保安部です。その守備範囲と勢力は、留萌支庁の南ほぼ3分の2、その沿岸から沖合い150キロメートルまでの海域と上川、北空知を管轄しています。所属船として巡視船「ちとせ」巡視艇「はまなす」があります。ただ「ちとせ」は老朽化が進んでおり、耐用年数にあと数年で達してしまいます。財政逼迫の折、老朽化による廃船の場合も自動的に代替の巡視船が配備されるとは限りません。これは地元からの要望も大事と思われるので、ぜひよろしく願います。

次に今回のテーマでもある、海の安心安全についてですが、高橋留萌市長さんが先日の観光協会の総会で、留萌の癒しの海を中心に観光事業を進めるとい趣旨の発言をされています。この「癒しの海」の維持には海が安心・安全であり、きれいな海であることが前提なのは言うまでもない事で、私どもはその安心・安全そしてきれいな海を守るという業務を通じて何らかの貢献が出来れば幸いと感じています。

これからは留萌の海に関連するトピックスをお話したいと思います。最初に、サハリンプロ



ジェクトについてですが、サハリンで生産された原油がアニワ湾から巨大タンカーに積み

れ、周年積み出しがこの冬から始まります。このタンカーは10万トンの原油を積んで宗谷海峡を西に出て南下、留萌沖を通過して津軽海峡に入り、千葉方面に行くものがあります。タンカーはダブルハルといって船体と貨物室の間に隙間を作り、多少の衝突でも積荷の原油がすぐに流出しないような構造になっております。しかし事故は絶対に起こらないかと言いますとそうではなく、現在想定されている事故としては、巨大タンカーのサイドタンクに船が直角に衝突し、中のタンク1つに亀裂が入って原油が流出するというものです。今も留萌港では内航のタンカーが道北に必要な油を移入していますが、これで1回に下ろす量が約2000トン位です。ところがもし事故によって巨大タンカーの横っ腹から流れ出すとされる量は約5500トンになるだろうと言われます。留萌の風の強さは厳しいものがあることは皆さん十分承知かと思いますが、特に冬場の西北西方向からの風が強いようです。留萌沖には南から北へ流れる対馬暖流がありますが、もし海上に油が流出すると、海流よりも風の影響を受けやすいのです。現在のところタンカーの具体的なルートは明らかになっていませんが、多少沖合いを通ったとしても、陸岸には必ず寄ってきて最悪には漂着という事態が想定されます。試算として宗谷海峡でタンカーが他の船と衝突、油が流出した場合には最悪6日間で知床半島に到達してしまいます。もちろんタンカーは保険に入っていますが、保険はお金を出すだけで、流出した油を回収してくれるのはお金ではありませんので、緊急的に対処するための方策を検討しなければなりません。海上保安庁では、洋上に流れ出た油を回収する装置を道北・オホーツク海沿岸に配備し、必要な訓練を行っておりますが、それでも限界がありますの

で、現在、海上災害防止センターというところで緊急時計画というものを作成しています。これは流出した油をどの時点でどの様に回収、処理をするか検討するもので、被害を最小限にしつつ、有効に油を回収・処分しようというものです。

次に水産物の密漁の話をしてします。現在中国では豊かさは徐々に深度を深めており、食の消費地として色々なものを輸入しております。特に北海道の食材は鮭、なまこ等の高級食材が輸出されています。中でもなまこは、浜値ではうにより高くなっているということです。そこで、ここ2～3年このなまこを狙った密漁が横行しています。昨年は室蘭管内にわざわざ愛媛からやって来たグループが密漁し、小樽で加工して輸出していたという事件が発生しています。テレビでも海上保安庁のヘリコプターが撮影した捕物の映像が何度も放映されたのは記憶に新しいところです。なまこの密漁は設備投資が少なく、採捕技術も必要ありません。また所持販売の取り締まり規定も整備されていませので、持ち込まれた加工屋が捕まえることも出来ないのです。現在道の方で条例を厳しくする事を検討していると聞いています。留萌沿岸では、うに、なまこ、鮭などの水産物の宝庫です。留萌海上保安部では昨年、密漁者を13名検挙しています。これはうに、あわび、たこ、ムール貝の密漁でした。今回の、蛸箱オーナーの爆発的なヒットで水蛸のおいしさが知れわたると、必ず密漁者が現れます。我々はこれを許さず、徹底的な取り締まりを誓います。

3つ目は海上レジャーにおける安心・安全についてお話します。海水浴客として年間約25万人の方が留萌管内に来られております。また、ボートを留萌管内の港に係留されている方もおります。これらの多くは、旭川を中心とした内陸部の方々が多く、年に数回も海に来れば良いほうでないかと思われます。これらの方々に海の怖さをご理解した上で安全に遊んでいただく必要があります。しかしながら、今日遊びにきた人に「海は怖い」と言っても効果は期待できません。また旅の恥は掻き捨て的なところもあ

り、海洋環境保全についての重要性もご理解いただかなければなりません。ただ、海を汚すのは内陸の人ばかりではない事をあえて申し上げておきます。留萌海上保安部では次のような指導を6月から内陸部で展開します。3 L Gの用意（自分の命は自分で守る、そのための三策）離岸流に注意（海はプールとは違う危険がある。それを知って楽しく）M I C S、F Mもえるの利用（海の情報は最新のものを）です。今後とも留萌海上保安部へのご協力をよろしく願います。本日はありがとうございました。

留萌海上保安部の守備範囲・勢力

- 担任水域1440km<sup>2</sup>
- 海岸線総延長150km  
— 初山別村～増毛町
- 職員数50名
- 巡視船ちとせ  
(昭和58年就役)
- 巡視艇はまなす  
(平成9年就役)



災害に備える一事故災害対策



流出油災害対策別冊 / 平成17年10月 / 留萌港  
NEMURO COAST GUARD OFFICE

